

# ぞっくポラン 第2号

このコーナーでは、住民と役場職員の協働参画によって作られた宇美町生涯学習ボランティア専門部会から発展したボランティア広報会議のメンバーが、ボランティアをしている人を応援し、ボランティアの「はじめの一歩」のきっかけになるような記事を掲載していきます。



宇美町ホタルと清流の会 角田 茂子 さん

今回は地域の中でボランティアなどの活動をされている団体や個人にスポットをあてて紹介します。



ホタルが育つ条件がそろっているからこそ、もっと大切にしたい。

## ○学生時代に体験したホタルの乱舞に感動して

私は、筑後平野の水田地帯で、クレーク(堀)のザリガニを捕まえたりして、自然と触れ合って育ちました。私のホタルとの出会いは赤間に住んでいた学生時代です。水田でホタルの乱舞に囲まれた時には本当に驚きました。

宇美町に住み始めたころ(25年前くらい)には、町内のあちこちでホタルが飛んでいるということを聞いていましたが、そのうちにあまり聞かなくなり、気になっていました。それで、退職を機に宇美町ホタルと清流の会に参加しました。

## ○会員でホタルを飼育しています

宇美町ホタルと清流の会は、町内の川を町民が親しみ、ホタルが群舞する清流としてよみがえらせることを目的として、平成12年に発足しました。ホタル育成や宇美小学校のビオトープ活動との交流に、現在11名の会員で取り組んでいます。

昨年、私は雌雄も見分けられない状態からのスタートでしたが、教えてもらいながらホタルの飼育をしました。卵から幼虫がかえったときは、とても嬉しかったです。幼虫は宇美小学校のビオトープに放流しました。成虫になって、ビオトープにホタルが舞ってくれるのを楽しみにしています。

宇美町は、山からの清流が流れている場所ですから、ホタルが育つその環境を大切にしていくことで、ホタルがたくさん飛ぶようになるといいなと思います。そして、今後は、ホタルの生息場所と環境の関連などについても調べていけたらと思います。



取材後のホタル調査では宇美小学校ビオトープにホタルを発見！記念すべき一匹目は角田さんが発見者でした。

作らむ  
画あけ

### ボラリンコ屋から

カワニナ飼ってるの？

ホタル飼ってるの。

ホタル？

ぼくはカワニナ。

水質の良い川に住んでるよ！

キャベツや大根の葉とか野菜が主食なの。

自然の川では、コケやクレスコを食べます。

へえー

ホタルの幼虫は実は砂の中なの。夜行性だから昼間は砂の中じっとしてるのが多いんだ！

ぼくら、実は幼虫の主食だったりするの。

おなかへったー

○宇美町ホタルと清流の会連絡先○  
932-0795(下村)



角田さんは、今後、所属しているコーラスグループで施設を訪問する予定があるそうです。また、ご主人が育てているスズムシを施設に届けたりもされています。それぞれの活動を楽しみながら、喜びと分かち合う姿が印象的でした。今回の取材は「むう」と「パイン」が担当しました。

